

1 学校沿革史

年度	月	歴代校長	概 要
昭和46	3	初代 川畑 春次	種福中学校と市比野中学校を統合により廃止
	4		両中学校を対等統合し種福中学校と改名、種福・市比野教場として発足
	4		学級数種福9・市比野8、生徒数種福339人・市比野281人
	5		校章制定
	7		新校舎敷地地鎮祭
47	3	2代 佐々木 史郎	新校舎1棟(管理校舎)完工
	4		学級数種福10・市比野7、生徒数種福316人・市比野249人
	10		太陽国体鹿児島で開催、種福がホッケー会場となる
48	3	4代 西 三郎	新校舎2棟完成
	4		学級数15、生徒数513人
	4		種福・市比野両教場を事実統合、新校舎で発足
	9		体育館竣工
10			武道館竣工
49	4		学級数14、生徒数469人
50	4	3代 斉藤 達二	学級数13、生徒数425人
	9		プール竣工、校庭制定
51	4	4代 西 三郎	学級数13、生徒数417人
	12		県ホッケー秋季大会優勝
52	1		県ホッケー選手権冬季大会優勝
53	4	5代 角園 榮男	学級数13、生徒数428人
	4		学級数12(普11、特1)、生徒数415人
54	4	6代 鯨島 一郎	学級数11(普10、特1)、生徒数389人
	6		校門前から体育館までの取付道路、町道へ編入(6、3)
55	4	7代 重信 憲一郎	学級数10(普9、特1)、生徒数379人
	4		県教委の研究協力校(美術)となる(55～56)
	11		開校10周年記念式典、文化祭挙行(記念碑建立)
56	4	8代 大河内 巖	学級数10(普9、特1)、生徒数369人
	8		校舎内補修工事
	11		県図工・美術・工芸教育研究会本校を中心に開催(13日)
57	4	9代 下川路 哲朗	学級数11(普10、特1)、生徒数360人
	3		県PTA研究委嘱公開
	3		第2運動場竣工
	4		学級数10(普9、特1)、生徒数354人
59	4		学級数10(普9、特1)、生徒数376人
60	4		学級数10(普9、特1)、生徒数392人
61	4	10代 牧野 達巳	学級数11(普10、特1)、生徒数395人
	4		山坂道者研究指定
62	4		学級数12(普11、特1)、生徒数387人
63	4	11代 川迫 國洋	学級数13(普12、特1)、生徒数392人
	9		第2グラウンド取付工事
平成元年	4	12代 持永 八洲郎	学級数12(普11、特1)、生徒数351人
	8		パソコン教育推進指定校
	8		自転車安全利用モデル校の指定
2	4	13代 永吉 賢一	学級数12(普11、特1)、生徒数350人
	10		文部省武道指導推進指定校
	11		地区パソコン教育研究公開
3	4	14代 田淵 哲郎	開校20周年記念式典
	7		学級数11(普10、特1)、生徒数344人
4	4	15代 小川 茂	校舎大規模改修工事
	10		学級数12(普11、特1)、生徒数365人
5	4	16代 永田 智彦	後校舎大規模改修工事
	7		文部省指定武道指導推進校研究発表大会
6	4	17代 田添 真二	学級数11(普10、特1)、生徒数358人
	7		体育館大規模改修工事
7	4	18代 大迫 輝久	学級数11(普10、特1)、生徒数339人
	4		文部省・県同和教育研究指定校
8	4	19代 川薩地区「生徒指導」研究協力校指定	武道館新築竣工
	12		学級数10(普9、特1)、生徒数325人
9	4	20代 大迫 輝久	文部省・県教育委員会委嘱同和教育研究公開
	9		男子頭髪自由化決定(H8、1、1から1年間試行)
10	4	21代 大迫 輝久	学級数10(普9、特1)、生徒数318人
	9		学級数10(普9、特1)、生徒数306人
11	4	22代 大迫 輝久	グラウンド改修工事完了
	9		学級数10(普9、特1)、生徒数284人
12	4	23代 大迫 輝久	体育倉庫新設
	4		学級数10(普9、特1)、生徒数277人
13	4	24代 大迫 輝久	学級数10(普9、特1)、生徒数282人
	1		学級数10(普9、特1)、生徒数278人
14	4	25代 大迫 輝久	開校30周年記念式典
	1		文部科学省指定「エイズ教育」研究公開
15	4	26代 大迫 輝久	学級数9(普8、特1)、生徒数245人
	4		学級数9(普8、特1)、生徒数245人
16	4	27代 大迫 輝久	学級数9(普8、特1)、生徒数241人
	4		学級数8(普7、特1)、生徒数238人
17	4	28代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数218人
	4		平成18・19年度川薩地区「生徒指導」研究協力校指定
18	4	29代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数211人
	4		川薩地区「生徒指導」研究公開
19	11	30代 大迫 輝久	第1回校内駅伝大会
	12		学級数7(普6、特1)、生徒数201人
20	4	31代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数199人
	4		小中一貫教育始まる
21	4	32代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数176人
	4		学級数7(普6、特1)、生徒数178人
22	4	33代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数164人
	4		種福小中一貫教育実践発表会開催
23	2	34代 大迫 輝久	種福小中一貫教育実践発表会開催
	4		学級数7(普6、特1)、生徒数181人
24	4	35代 大迫 輝久	韓国昌寧郡青少年スポーツ交流団来校(サッカー)
	11		学級数7(普6、特1)、生徒数179人
25	4	36代 大迫 輝久	陸奥川内市・昌寧郡青少年スポーツ交流団訪韓(サッカー)
	11		学級数7(普6、特1)、生徒数174人
26	4	37代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数174人
	8		韓国昌寧郡青少年スポーツ交流団来校(サッカー)
27	4	38代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数163人
	11		種福小中一貫教育実践発表会開催
28	4	39代 大迫 輝久	学級数7(普6、特1)、生徒数163人
	11		種福小中一貫教育実践発表会開催
29	4		学級数8(普6、特2)、生徒数160人

2 学校経営方針

1 経営基調

法令及び学習指導要領の基準に即し、県や市の教育行政の方針や重点を踏まえ、生徒、保護者及び教職員の願い、社会の要請や発展に対応した教育課程を編成し、教育の持つ役割や責任を十分認識しつつ、校訓に基づく校風の樹立を基調として学校教育を推進する。

2 経営方針

- 生徒の実態を的確に把握して教育課題を明確にし、教職員の共通理解を深め、指導体制を確立して積極的に確実な教育活動を推進する。
- 学習指導要領に基づく特色ある教育課程編成と実践、学校教育目標の実現及び校訓「学ぶ・磨く・鍛える」に基づく知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指す教育を推進する。併せて、自校の伝統の確立と特色ある校風の樹立に努める。
- 生徒指導の充実を図るために生徒理解を深め、共通理解・共通認識・共通実践の全校体制の下に、生徒指導部会や学年部会をさらに充実させる。
- 学校と家庭・地域社会との連携を密にし、相互の信頼を深め、一体となって開かれた学校づくりを推進するとともにPTA活動を活性化し、特色ある教育活動を推進する。

3 学校教育目標

- 基本目標
確かな学力を身につけ、人を尊重する豊かな人間性と、たくましい生活力を備えた生徒の育成
- 具体目標

校 訓	目 指 す 生 徒 像	生きる力
学 ぶ	○ 自ら学び、基礎学力を身に付ける生徒 ○ 自ら考え、進んで活用・実践する生徒	確かな学力
磨 く	○ きまりを守り、礼儀正しく、より良く生きる生徒 ○ 互いに励まし合い、思いやりのある生徒	豊かな人間性
鍛 える	○ 明朗でたくましく、気力・体力のある生徒 ○ 根気強く、最後まで頑張り抜く生徒(種福魂)	たくましい生活力

(3) 目指す学校像

- 明るく、活力に満ちた学校
- 確かな学力のつく学校
- 愛情と信頼で結ばれた学校
- 整然とした美しい学校
- 規律が守られ、秩序ある学校
- 地域社会に開かれた学校

(4) 目指す教師像

- 明るく、健康で、人間性豊かな教師
- 職責を果たし、信頼される教師
- 率先垂範・師弟同行の精神で実践する教師
- 自己研鑽に努め、指導力の向上に努める教師
- 常に愛情をもって教え、厳しく育てる教師

(5) キャッチフレーズ

- 「あいさつ・思いやり・ありがとう」
- 種福中学校区小中一貫教育目標
- 心豊かで活力(生きる力)溢れる種福っ子の育成
- ◆ 「ひ」ーひとみ輝く「やる気・元気・根気」の醸成
- ◆ 「わ」ーわかる授業の実践による確かな学力の育成
- ◆ 「き」ー基本的生活週間の確立と思いやりの心の涵養

4 重点課題

- 確かな学力 … 学力の向上、特別支援教育の充実、キャリア教育の推進
- 豊かな人間性 … 生徒指導の充実、人権教育の推進、特別活動の充実、環境緑化・美化の充実
- たくましい生活力 … 安全指導・管理の徹底、保健・体育指導の充実
- 特色ある教育活動 … 小中一貫教育の推進、土曜授業の推進、コミュニティスクールの推進